



世界ではどのようにクリスマスをお祝っているのでしょうか。7カ国のクリスマスの様子をご紹介します。

★ベトナム★ 今年10月最終日曜日のミサ後、なみはや教会ベトナム語グループの青年たちがリーダーの家に集まり、クリスマスが話題になりました。そこで例年のように教会の庭に馬小屋を作る段取りを話し合いました。『天のいと高きところには神に栄光あれ……』の看板を日本語とベトナム語で表記し馬小屋に飾りたい」と声が出れば、「わたしの手配する」と手が上がります。こうして、ベトナムで伝統になっている教会の馬小屋づくりは脈々と受け継がれています。



★ブラジル★ 南半球ブラジルのクリスマスは真夏です。日本のお正月感覚で家族が集まりお祝いします。雪景色とは無縁で、サーフィンをするサンタクロースの絵や人形なども見かけます。クリスマスで欠かせないのは「パネトーネ」というイタリア文化由来のパンケーキです。メイン・ディッシュは、七面鳥やチキンの丸焼きです。お腹の部分にピラフを詰めたり、マンジオッカ(キャサバの粉)を詰めたりします。袋詰めにした内臓や足が入っていることもあります。これは日本人にはちょっとなじみが薄いです。また、「テンデル」といわれる豚肉の加工品もなじみです。



★インドネシア★ インドネシアのクリスマスは24日の夜のミサに家族で行きます。毎年、たくさんの人たちが教会に行ってお祝いします。以前、イスラム教徒が教会に向けて爆弾を投げたことがあり、警察が教会の周りで警護しています。80%がイスラム教徒なので、地域によってはとても厳しい目が向けられています。クッキーを焼いたり、みんなで集まってプレゼント交換をします。

★ドイツ★ ドイツでは、クリスマスの前に靴を綺麗に磨いてから中にトナカイが食べられるように草を入れ、クリスマスツリー一番下に置きます。トナカイが草を食べた後、サンタがプレゼントを入れてくれるのです。アドベントカレンダーの種類が多く、子どもたちはワクワクしながら一日一日クリスマスが来るのを楽しみにめぐります。

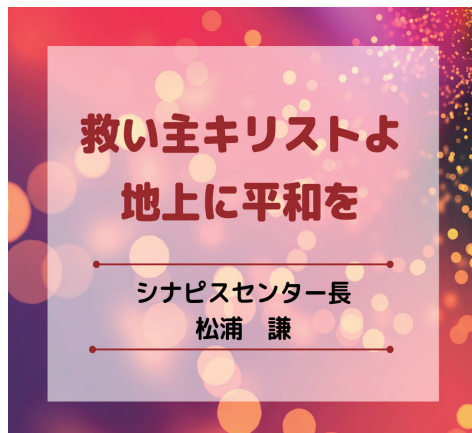


★ポルトガル★ ポルトガルでは家族で祝うことが多いです。クリスマスイブの夕食に集まり、伝統的なタラ料理を食べます。デザートには、砂糖漬けやドライフルーツが一杯入ったケーキ(ポロ・レイ)やカステラなど甘いものは欠かせません。多くの家族はプレゼピオを飾ります。イエス様が生まれた場面を再現、特徴としてポルトガルの日常の生活の風景やお祭りのような雰囲気を作ることによって、イエス様が私たちのところに生まれた喜びを表します。クリスマスの朝は子どもたちがプレゼントをプレゼピオの前に探しに来ます。サンタさんではなく、赤ん坊のイエス様からもらうことを信じています。イエス様の誕生の喜びと新年の祝福を祈って人びとが「フェリシユ・ナタレ」と挨拶し、感謝と希望のうちにクリスマスと新年を祝います。



★韓国★ 韓国では宗教があろうがなかろうが関係なく、すべての人たちが楽しむ年末のイベントという感じです。アジアの殆どの国は、キリスト教文化圏ではないので人びとが一般的なクリスマスを楽しみ、その日を休日と決めて仕事を休んだりしません。しかし、韓国は東アジアで唯一クリスマス当日の12月25日を祝日と指定した国です。公休日ではありますが、他の祝日のように政府で特別な行事はしません。

2022年も残すところあと1か月足らずとなりました。振り返ると、人間に深い悲しみと苦しみをもたらす出来事が地球規模で起こり続けています。ウクライナ



は、イエスの誕生を祝います。歴史的には、それは今から約2030年くらい前のパレスチナの村での出来事でした。普通、誰かの誕生日はその人

イナを初めとする各地の戦争と破壊、繰り返される流血と暴力、私たちの生活に甚大な影響をもたらす、おびただしい犠牲者を生んだコロナウイルス感染症。パンデミック、気候危機により激化する災害などです。

そのような中で間もなくわたしたちは、イエスの誕生を祝います。歴史的には、それは今から約2030年くらい前のパレスチナの村での出来事でした。普通、誰かの誕生日はその人

が亡くなればもう祝いません。でもクリスマスは違います。イエスは決して過去の人でない。今もこれからも「人類家族の一員」として、ずっとわたしたちと共にいてくださるお方です。だからこそ今も世界中でお祝いするので。神様は人間の苦悩を受け止められました。「愛」という漢字には「心」という字が真中にあります。そのほかの部分は前に進めない様子を表す象形文字だそうです。つまり相手のことで自分の心がいつばいで、苦しいありさまを指すともいえます。沖縄のことばに

「肝(ちむく)苦(くる)りさ」「肝(ちむく)がな(な)さ」という表現があります。胸を突かれ、はらわたが痛むような状態を指すそうですが、愛とはそのような心です。それこそがわたしたち人間の苦しみ悲しみに心を痛め、決して無関心でいられない神様の心です。いくししみと憐れみに満ちた神様はわたしたちのために最愛の御独り子イエス・キリストを送ってくださいました。

イエスがベツレヘムで誕生した時、野宿していた羊飼いたちに天使が現れていました。「恐れるな、わたしは、民全体に与えられた。イエスがベツレヘムで誕生した時、野宿していた羊飼いたちに天使が現れていました。恐れるな、わたしは、民全体に与えられた。

「肝(ちむく)苦(くる)りさ」「肝(ちむく)がな(な)さ」という表現があります。胸を突かれ、はらわたが痛むような状態を指すそうですが、愛とはそのような心です。それこそがわたしたち人間の苦しみ悲しみに心を痛め、決して無関心でいられない神様の心です。いくししみと憐れみに満ちた神様はわたしたちのために最愛の御独り子イエス・キリストを送ってくださいました。

る大きな喜びを告げる。今日、ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになつた(ルカ2:10-11)。地上に平和をもたらす方はこの方をおいて他にはいません。降誕祭を迎える今、救い主であるイエス様に向かい、地上に真の平和をお与えくださいと祈りましょう。

★コンゴ民主共和国★



人口の85%以上がキリスト者で、クリスマスは家族の中で特に子どもたちを中心に家族一緒に幼子イエスの誕生を祝います。経済的な状況によって両親は子どもたちにプレゼントを贈ります。服、お菓子、チョコレートなど。大きな町では広場で光輝く大きなクリスマスツリーを飾ります。オーケストラによる音楽が流れ、クリスマスの歌が響きます。教会では主の降誕の礼拝が行われます。

Form for donation: 払込取扱票 (02 大阪) 払込金受領証. Includes fields for account number (口座番号), amount (金額), recipient name (加入者名), and address (おところ・おなまえ).